

幼
な
じ
み
が

サ
キ
ユ
バ
ス
だ。
。



彼女の名前は咲葉ユリ。
俺の同級生で幼なじみだ。

でー
昨日行った
お店でねー

お、おう
それよりさ
お前しっぽ…

あー…
でも、もう気に
してないよ。
クラスのみんなも
慣れたみたいだし。

彼女は普通の人とはちよっと
違った体質の持ち主だ。

でも今の体勢
パンツ丸見えだぞ？

もう！エッチ！
アツヤが言わなければ
誰も気にしないのにさ！

そういう
問題か…？

彼女は「サキユバス」。
違った体質を持ってはいるが
ポジティブに暮らしている。

この日は何か違った
いつもユリとは一緒にいるが
彼女からまとわりつく空気は
異質な雰囲気を感じる。

久々だな
お前の部屋も。

そ、それで
何だったけ？
昨日のテストの事で…

なッ
!?

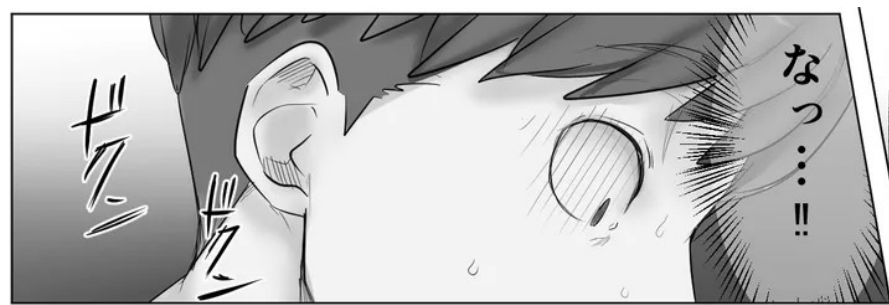
何してんだ!!
ユリ!?

な、何!?

すれ違う雄を
見るたびに私のここが
アツくなっちゃうの…

…朝から
止まらないの…

…このままじゃ
どうしようも
ならないから
せめて…アツヤに…



なっ…!!

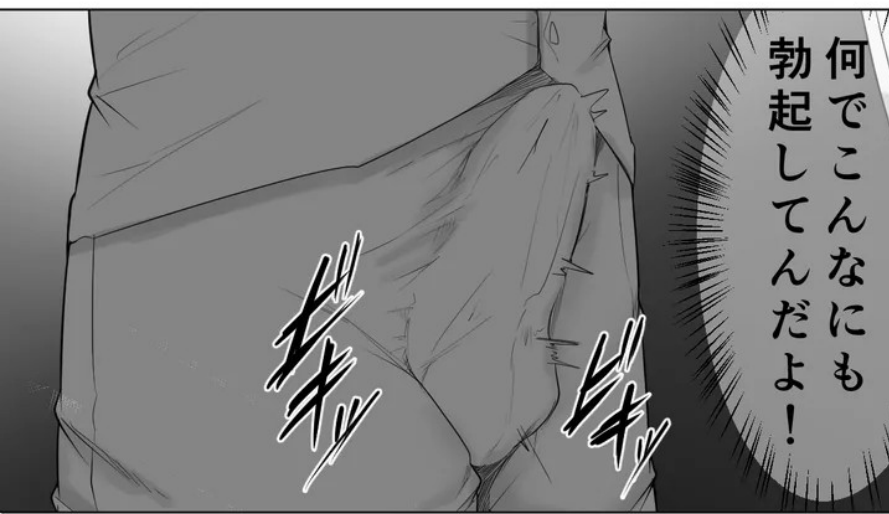
グッ



はあ…
やっただよ

ユ、ユリ
どうしたんだよ!?

やっとなこと
エッチなこと
ができる♡



何でこんなにも
勃起してんだよ!

キツ

キツ



うツ!!

キツ

キツ



ほら、もう
こんなにも
パンパンに
膨らんで…

すんごい
苦しそう…♡

ユ、ユリ
ダメだ
これ以上は!







や、ヤバい
心臓が張り裂け
そうだ

今までに無いくらい
出し尽くした気がする...



射精るツ!!!!

アハツ♡
スゴイ量♡

こんなに重くて
熱い精子:♡



ほら、見て?
私のも、もうこんなにも
グチュグチュだよ?♡

今の一回で満足
してないよね?♡
だったら
こっちまで
来て:
ねえ:??♡



けれど、なんでだ...?
あんなだけ出したのに
まだ治まらない...



まるでアソコが
俺のものじゃない
みたいなの...





いいよ♥
もつと突いて…♥



あん♥あッ♥
すっごい勢い…♥



すっごい!!
もつと♥
もつと♥

ヤバい!!
もうイキそう!



す、すげえ、ユリの腔内…
腰が止まらない…

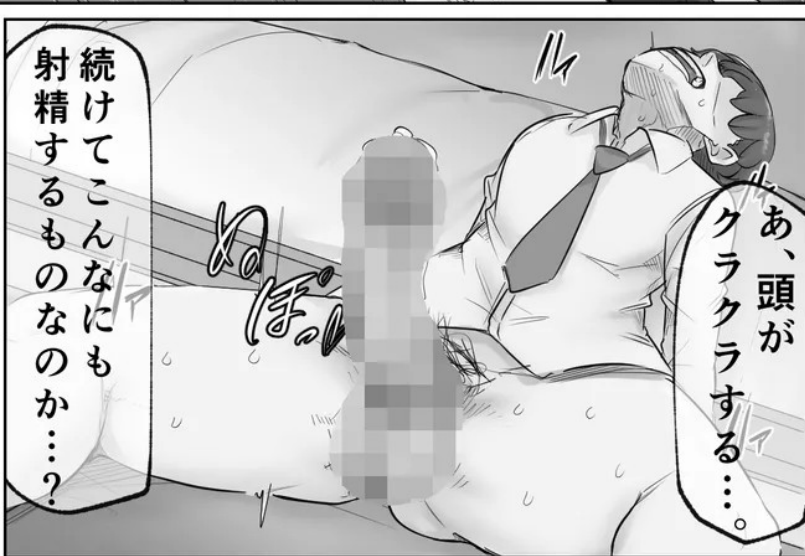
私も：
タツヤのおちんぽ
気持ちいいよ♥

このまま
いっぱい突いて♥



んっ♥
いいよ、このまま
腔内に!♥

ハア…ヤベエ…
イクッ…!



ンフ：❤
まだまだお互い
満足していない
みたいだね。

よっぽど相性が
いいのか。

だったらこのまま
互いにどろどろの
ぐちゃぐちゃになるまで



いっぱい私の
ここをおちんぽで
引っかきまわして❤

サイコーに
気持ちいい事
しよっ？❤





今までで一番サイコーな射精にしてあげる♥

覚悟してね♥



今度は私の番…。

私が上から動いてあげる♥



すっごい…!! さっきより固い!!♥

うっ…!! な、膣内がスゴイ締め付けだ…!!



や、やばい…
ちよつと激しすぎるっ…!!

どう♡
気持ちいい?♡

んっ♡

固い♡
今まで一番かも♡

ん♡

ん♡

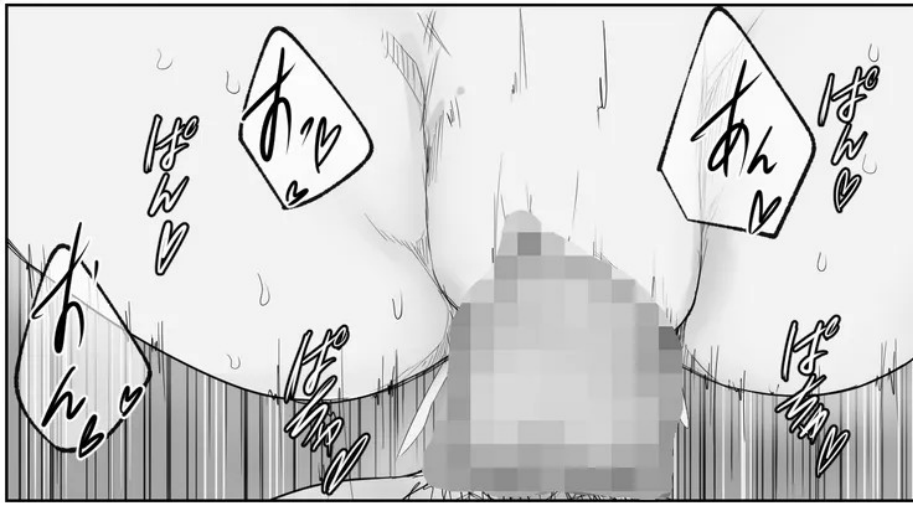
ん♡

ん♡



ああ…ユリ…
なんでこんなこと…!!

や、やばい…!!



ん♡

ん♡

ん♡

ん♡



ンフ♡ほら♡
まだまだだよ♡

もっともっと
気持ちよく
してあげる♡

ん♡

ん♡

ん♡







うツ!!!!

スゴい!!
こんなにいっぱい!!!!
♡



まるで悪魔のような

恍惚の笑みを
浮かべてた。



薄れゆく意識とは反比例し
止まらない射精を続ける
俺のモノは壊れたじゃ蛇口の
ように射精し続ける。

そんな中、見上げた先の
彼女の表情は

6時間後：

そ、それよりこんなことになつたのは体質のせい？

んー…
まあ、それも
あるけど…

それも？

わかんないかなあ…
私が誰とでもする女じゃ
ないって…

ん？なんて？

んー!!!
もういい!!
今日は寝る!!

あー…
そ、そう…

ハア…♡
さすがに♡
お腹いっぱいかな♡

ハア

ハア

お、俺も…これ以上は
何も出ねえ…

でも、ちよつと休憩したら
まだ出来るでしょ？

えっ？

(ま、マジかよ…!?)

サキユバスの性欲

やばすぎだろ…!!)

